

# 平成 27 年度 経済局運営方針

## I. 基本目標

### 「力強く、躍動する横浜の実現」に挑戦！

～ 市民や企業の皆様に寄り添い、  
信頼される「パートナー」として全力で取り組みます ～

## II. 目標達成に向けた施策

### 施策推進にあたっての姿勢

- ① 中小企業の振興や商店街の活性化、成長分野の育成など、中期 4 年計画を着実に推進します。
- ② 企業や経済団体との信頼関係をさらに深め、区や局と連携・協働して、活力のある横浜をつくります。
- ③ 情報のアンテナを広げ、現場の「生の声」や国内外の経済の動きに敏感に、スピード感を持って行動します。



#### 中小企業、商店街の振興

- 中小企業の経営基盤強化に向けた取組、新たな分野・事業の拡大への挑戦への支援
- 未来の横浜を支える起業家やベンチャー企業の育成の推進
- 「よこはまプレミアム商品券」の発行による市内消費喚起と市内商店街の活性化

#### 成長・発展に向けた取組

- 成長分野における新製品・サービスの開発や国内・海外での販路開拓の重点的な支援
- 国家戦略特区や国際戦略総合特区の指定によるメリットを活用し、企業の事業活動の活性化
- 改正した企業立地促進条例や横浜の立地環境等の効果的な発信による、積極的な企業誘致
- チャレンジする市内企業の多様な資金調達支援

#### 女性やシニアの活躍支援

- 経済の重要な担い手となる女性やシニアの起業促進
- 中小企業等で働く女性の活躍の場の拡大

#### 雇用・消費者への支援

- 就職相談から就職後の定着支援まで、一貫したサポートによる市民の就労促進
- 消費者教育推進をはじめとした消費者行政の充実
- 再編後の市場の機能強化と南部市場の跡地活用に向けた検討

## III. 目標達成に向けた組織運営

### “組織”を越える

局職員が高いチームワークを発揮し、企業・市民・経済団体等の皆様や区・局と連携を深め、協働していきます。

### “発想”を豊かに

柔軟かつ自由な発想で幅広く議論し、活気ある風通しの良い職場づくりをこれまで以上に進めます。

### “意識”をみがく

企業等の皆様との「つながり」を大切にし、職員一人ひとりが営業マインドあふれる「人財」を目指します。

### “時間”を活かす

事務の効率化やオン・オフの切り替えを徹底し、モチベーションを高め、公私で輝くワーク・ライフ・バランスを一層実践します。